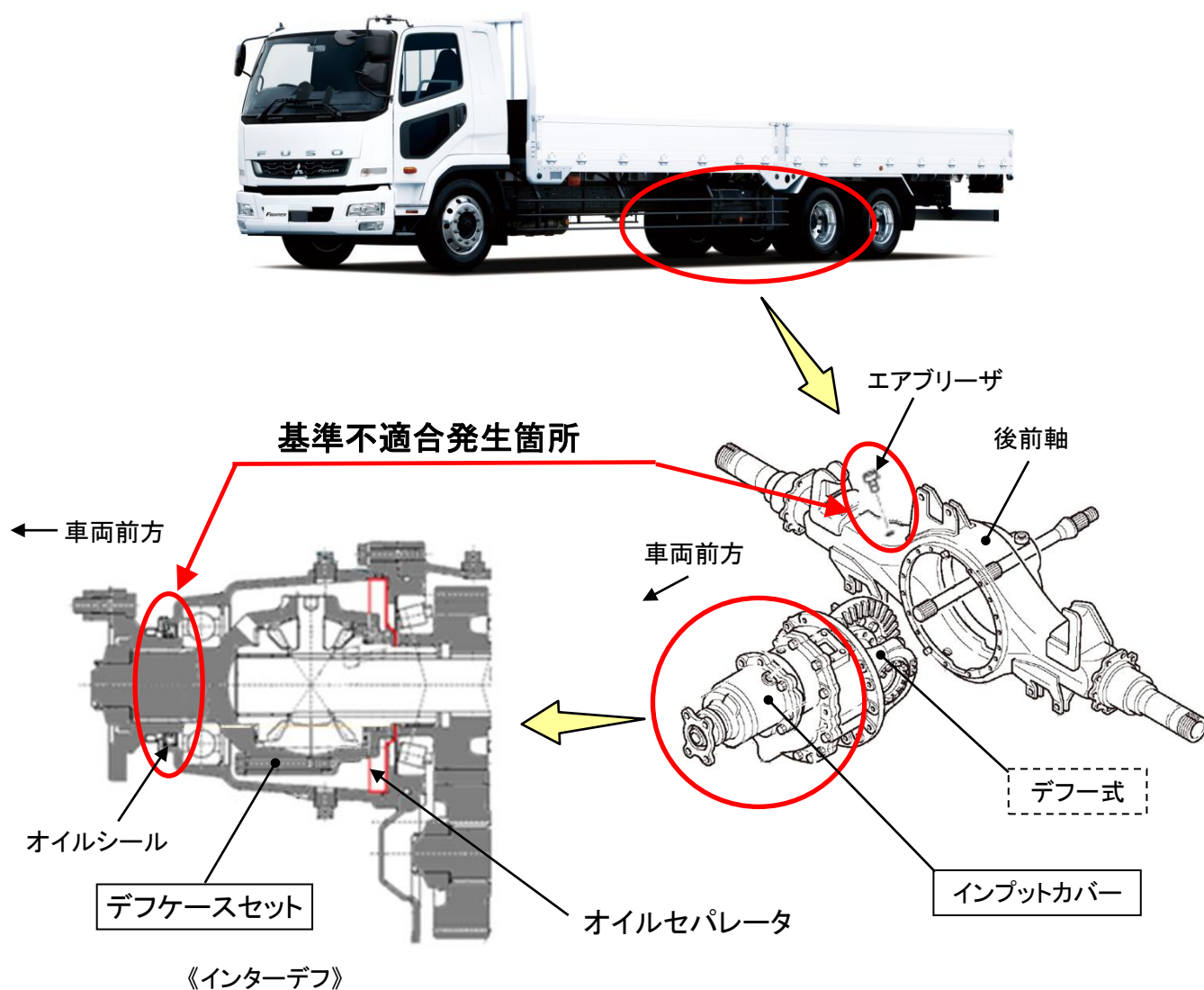


改善箇所説明図



リヤ2軸駆動の中型トラックにおいて、後前軸インターデフ部へのオイル潤滑構造が不適切なため、走行中に後前軸のデフオイルが過度に高温になることで後前軸内部の圧力が上昇して、エアブリーザやオイルシール部からオイル漏れが生じることがある。

また、デフオイルが過度に高温になることで早期にオイル劣化が進行するため、インターデフと後前軸デフのベアリングやギヤの摩耗が促進されて異音が生じることがある。

改善措置の内容

全車両、インターデフ内部を点検し、ベアリングやギヤに異常が認められなかった場合は、インプットカバーとデフケースセットを対策品に交換すると共にオイルセパレータを取り外してオイルポンプを取付け、異常が認められた場合は、対策品のインターデフ式に交換する。

また、後前軸のデフを点検し、ベアリングやギヤに異常が認められた場合は、新品のデフ式に交換する。

注： はインターデフのベアリングやギヤに異常が認められなかった場合に、対策品に交換する部品を示す。

 は後前軸デフのベアリングやギヤに異常が認められた場合に、新品に交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、インプットカバーに白色ペイントを塗布する。